



2019年度

第2四半期決算 補足説明資料

2019年11月14日

パイ株式会社



[1]2019年度第2四半期 業績の概要

[2]2019年度 業績の見通し



1) 決算のポイント

- ・エンタテインメント市場は引き続き近年の増加トレンドを維持し、当社グループの業績はスポーツジャンルでのチケット販売が好調に推移するなど、概ね当初予想通りに進捗。前年同期比では、音楽ジャンルを中心に大規模興行が少なかったこと、前年にはなかった新規事業の立ち上げ経費等により、売上高・営業利益とも前年度実績を下回る水準。
- ・連結売上高883億72百万円(対前年同期比92.9%)、営業利益6億96百万円(同80.2%)、経常利益7億円(同85.9%)、四半期純利益3億24百万円(同59.3%)にて着地。
- ・「プロ野球」「サッカー」リーグ「ROCK IN JAPAN FES. 2019」等の大型興行、『夏ぴあ』『ラグビーぴあ』等の出版企画商品、「PIA MUSIC COMPLEX 2019」「S20 JAPAN SONGKRAN MUSIC FESTIVAL 2019」等の主催興行が売上に貢献。
- ・当社が「チケットングサプライヤー」を務めたラグビーW杯2019のチケット販売が順調。「チケットングシステム&サービスオペレーション業務」を受託している東京2020オリンピック・パラリンピックのチケット販売もスタート。

2) 前年度との比較



[単位:百万円]

	前年度	2019年度	前年度からの増減
売上高	95,068	88,372	▲6,696
差引売上総利益	7,562	7,295	▲267
粗利率	8.0%	8.3%	+0.3%
営業利益	851	696	▲155
経常利益	815	700	▲115
親会社株主に帰属する 四半期純利益	546	324	▲222

3) 連結損益計算書 (要約)



[単位:百万円]

	【前年度】	【2019年度】	【前年度比】
売上高	95,068	88,372	▲6,696
売上原価	87,506	81,077	▲6,429
差引売上総利益	7,562	7,295	▲267
販管費	6,710	6,598	▲112
営業利益	851	696	▲155
営業外収益	20	26	+6
営業外費用	56	23	▲33
経常利益	815	700	▲115
特別利益	-	-	0
特別損失	-	133	+133
税引き前四半期純利益	815	566	▲249
法人税等合計 少数株主利益	268	242	▲26
親会社株主に帰属する 四半期純利益	546	324	▲222
四半期包括利益	562	353	▲209

4) 連結貸借対照表 (要約)



[単位:百万円]

資産の部		
	【前年度末】	【2019/9末】
現預金	25,206	17,772
売掛金等	20,759	19,246
商品等	167	98
その他	3,718	4,500
流動資産：前年度末比 8,234減		
流動資産	49,850	41,616
有形固定	4,435	7,254
無形固定	4,517	4,607
投資その他	3,895	3,738
固定資産：前年度末比 2,752増		
固定資産	12,848	15,600
資産合計	62,699	57,216

負債の部		
	【前年度末】	【2019/9末】
流動負債：前年度末比 6,981減		
流動負債	52,614	45,633
固定負債	3,483	5,378
負債合計	56,098	51,011
純資産の部		
資本金	4,924	4,924
資本剰余金	1,105	1,116
利益剰余金	4,431	4,492
自己株式	▲3,904	▲4,372
他包括利益	▲44	▲24
少数株主持分	88	69
純資産合計	6,601	6,205
負債・純資産合計	62,699	57,216

5) 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)



[単位:百万円]

	【前年度】	【2019年度】	【前年度比】
営業活動による キャッシュ・フロー	9,214	▲4,810	▲14,024
投資活動による キャッシュ・フロー	▲2,444	▲3,756	▲1,312
財務活動による キャッシュ・フロー	▲43	1,138	+1,181
現預金及び現金同等物の 増減額 (▲は減少)	6,726	▲7,433	▲14,159
現預金及び現金同等物の 期首残高	18,582	25,206	+6,624
現預金及び現金同等物の 四半期末残高	25,309	17,772	▲7,537

6) 主な取り組み(1/2)



◆ぴあならではのバリューチェーンの成立に向け、大規模主催興行や、プロモーションメディア展開に注力



PIA MUSIC COMPLEX 2019
-ぴあフェス-



WANIMA x S20 JAPAN
Good Job!! Release Party



©日刊スポーツ新聞社
2019神宮外苑花火大会

<話題の書籍・MOOK>



▲ラグビーW杯、東京オリパラなどの出版物も好評

◆「ぴあ」(アプリ)好評、ダウンロード数も85万を突破



情報誌『ぴあ』をネット上で復活させた「ぴあ」(アプリ)は、2018年11月のリリースから現在まででダウンロード数85万を突破。10月からは待望の関西版/中部版もリリース。

6) 主な取り組み(2/2)



◆ラグビーW杯2019日本大会のチケット販売を全面的に受託

当社が「チケットングサプライヤー」として公式チケットサイトの構築と運営を受託した「ラグビーW杯2019日本大会」が9月20日に開幕。チケット販売率は99%に達し、延べ観客動員数は170万人超を記録、各方面から高い評価を得た。



◆東京オリンピック・パラリンピックのチケット販売もスタート

当社がチケットングシステム&サービスオペレーションを受託している、2020東京オリンピック・パラリンピックのチケット販売がスタート。オリンピックは5月に1次抽選、8月に追加抽選を受け付け、約400万枚のチケットを販売。パラリンピックは8月に1次抽選を受け付け、約60万枚のチケットを販売した。



◆「ぴあアリーナMM」の開業日は2020年4月25日(土)に決定。

こけら落とし公演は地元出身の「ゆず」。開業後の貸館予約の受付も好調。



7) 社業を通じた社会的活動



◆「PFF」が 41回目の開催

一般社団法人PFFが昨年を上回る
66の企業、業界団体からの協賛を
得て、41回目のPFFを開催。
さらなる継続と拡大を目指す。



▲第41回PFFの授賞式の模様



◆チームスマイル 「"わたしの夢"応援 プロジェクト」も継続中

震災から8年を経た今も、被災地の子どもたちの夢を応援するプロジェクトを継続的に実施。



Vol.21 野村万蔵さんと
林家正蔵さん(福島)



Vol.22 乙武洋匡さんと
パラ選手の皆さん(宮城)



◆大相撲九月場所より 「がんばれ新入幕！」 の懸賞幕で、 新入幕力士を応援

[2]2019年度 業績の見通し



上期は、前年度実績を下回るものの、概ね予想通り進捗。
通期の業績予想に変更なし。

[単位:百万円]

【連結PL】	上期		通期	
	【18年度実績】	【19年度実績】	【18年度実績】	【19年度予想】
売上高	95,068	88,372	179,969	180,000
営業利益	851	696	1,377	1,450
経常利益	815	700	1,348	1,400
当期利益※	546	324	817	820
1株あたり配当金	—	—	20円	20円

※親会社株主に帰属する当期純利益です。